

みやぎ

おおひら 議会だより



補正予算
一般質問
懇談会

ソーランソーラン♪
(村新年会 ききょう平保育園)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

大衡村議会議長 高橋浩之

村民の皆様には希望に満ちた新春を迎え心からお慶び申し上げます。

日頃から村議会へのご理解と、議会活動に対する温かいご支援ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

村と議会が対等な立場で議論し役割を果たしていくことで、大衡村の発展につながっていくと信じています。

議会として村の各種施策・事業について活発に調査討論を行い、課題解決や新たな未来展望に向け、施策提言するよう取り組んでまいります。

令和6年が皆様にとって輝かしい年となりますようお願い新年の挨拶といたします。






新年のメッセージ

今年の抱負


10



佐々木 金彌

大衡も変化していきます。村民が住みやすくなるよう努力してまいります！


11



副議長 石川 敏

政策を提案する
皆さんに説明できる
議員活動に努めます。


12



議長 高橋 浩之

村民の声を聴き、村政に活かす議会にできるよう努力してまいります。


7



文屋 裕男

小学生と稚^{したけ}茸を通して、未来を背負^しつ児童との交流を深めたい。

8



細川 運一

「感謝」の気持ちを忘れずに、行動・発言していきたい。


9



遠藤 昌一

躍進する村のため
経験を活かし
頑張ります。


4



小川 克也

皆さんの意見や要望を
たくさん聞けるように
走り回ります！


5



佐野 英俊

里山に企業の立地が進み
芽から葉が出て花が咲く
喜び笑える一年に。


6



赤間しづ江

笑顔と感謝を忘れずに！
今までもこれからも私の変わらない目標です。


1



山本 信悟

村が昇り龍のごとく！
笑顔と感謝を忘れずま^ちづ
くり^に努めてまいります。


2



早坂 美華

今年も皆さんとたくさんお話し、多くの声を村政に届けたい。

3



鈴木 和信

皆さんの声を村政に反映できる議員を目指します。

12月定例会

一般会計予算

1億3,163万円 増額

として追加 全村民に3千円商品券

令和5年第4回定例会は、12月5日から7日まで3日間にわたり開かれた。村長提出案件は、条例改正8件、令和5年度補正予算13件の議案が提出され、すべて原案どおり可決された。

一般質問は6名の議員が質問し、10Pから15Pに掲載しています。



どうする給食センターの防風雪対策

主 な 質 疑

給食センター

問 整備工事が完了したことにより工事費残額を減額しているが、センター敷地の冬季間の防風雪対策が必要になってくるのではないか。除雪機だけで対応できるのか。

答 除雪作業は給食センターだけでなく、中学校敷地も併せて行う。今冬季の状況を見ながら、防風雪対策は考えていきたい。

土地売払い収入

問 土地売払い収入797万円あるが、場所と売払い理由は。

答 2件あり、国道4号拡幅に伴い衡上地区の村有地874㎡2550万円と、蕨崎地区の企業の駐車場への取付道路として払い下げしたもの。

消防団備品

問 消防団整備国庫補助金が減額になる理由は。

答 団員の活動服購入補助金を申請したが、本村では昨年度も補助金を受けており、全国の要望が多く今年度は不採択となった。

上北沢排水処理場

問 修繕工事費として321万円補正しているが、当初予算で1億6915万円計上されていいる。新たに追加するのではなく、現予算で対応すべきではないか。予算執行は適切か。

答 施設全体の更新工事費として当初予算を計上していたが、現在更新工事方式を再検討している。修繕が必要になった送水ポンプの維持補修工事として追加補正する。



物価高騰対策

①非課税世帯に7万円 ②

補正の主なもの

◎歳入の補正

村税	3,400万円
地方交付税	9,652万円
地方創生臨時交付金	4,445万円
基金繰入金	△4,279万円
村債	△1,620万円

◎歳出の補正

物価高騰支援給付金	2,940万円
同 商品券発行	1,723万円
代替バス駒場線運行補助	939万円
村道除雪委託料	770万円
学校給食センター整備工事	△1,013万円

◎各種会計補正額

会計別	補正前	補正額	予算額
一般会計	54億3,201万円	1億3,163万円	55億6,364万円
特別会計	国民健康保険	1,013万円	5億7,431万円
	下水道	359万円	2億7,179万円
	介護保険	259万円	7億 149万円
	戸別合併処理浄化槽	97万円	4,897万円
	後期高齢	172万円	6,356万円
水道事業(収益的支出)	2億3,403万円	280万円	2億3,683万円



万全な村道除雪作業に備えて

主な質疑

除雪委託料

問 本年も降雪前に除雪委託料を増額する理由は。小中学校周辺は通学に支障がないよう歩道の除雪も対処すべきではないか。

答 前年度実績から見ても、当初予算額では不足することが見込まれるので追加する。除雪作業委託業者は10社であり、学校周辺は通学に支障がないよう対応していく。

介護保険計画

問 各介護サービスの当初計画に対する実績状況は。令和6年度からの次期介護保険計画や保険料算定の状況は。

答 今年度の実績はまだ途中であるが、令和3年度から3年間の実績を見ると、計画より少なくなると見込んでいる。次期介護保険計画は、実績傾向を的確に捉えて策定していきたい。

条例 改正

職員不祥事の管理監督責任として

村長・副村長給料を20%減額

(令和6年1月から3月まで)

改正される条例と変更内容
職員の給与に関する条例 給料表、期末・勤勉手当支給率の改正（2.2月分⇒2.3月分）
議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例 期末手当支給率の改正（3.3月分⇒3.4月分）
特別職職員の給与及び旅費に関する条例 期末手当支給率の改正（3.3月分⇒3.4月分）
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 給料表、期末手当支給率の改正（2.4月分⇒2.45月分）
印鑑の登録及び証明に関する条例 スマートフォンによる電子証明書利用の追加
行政手続きにおける個人番号の利用及び個人情報の提供に関する条例 同法律の改正に伴う
テレビ放送共同受信施設設置工事分担金徴収条例 分担金の額、納期の改正
道路占用料等条例 使用料の改正

主 な 質 疑

特別職給料

問 村長、副村長給料の減額条例改正が提案されたが、減額に伴う補正予算が計上されていない。

答 条例改正と補正予算は同時に提案すべきではなかったか。

答 特別職の給料減額分は来年3月の補正予算で提案する予定としていたが、指摘はもっともと感じている。今後適切に対処する。

道路占用料

問 占用料が電柱電線や広告塔看板など個別ごとに増額と減額がある理由は。

答 占用料額算定の基礎となる固定資産評価替えの結果により、増額になるものと減額になるものが生じた。



郵便ポスト・公衆電話も占用料が改正



更新される大瓜地区テレビ共同受信施設

テレビ工事分担金

問 テレビ共同受信施設の工事費、工事内容、受益者数などの詳細は。

答 現在の同軸ケーブル配線から光ケーブルに更新するもので、工事費は7000万円を超える。受益者は大瓜上、大瓜下地区の96戸である。

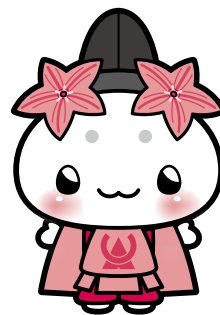
問 工事着手時期や分担金など受益者への説明はどうか。

答 今後、一般競争入札で工業者を決定するが、東北電力やNTTとの手続きも必要になる。
工事着手前に受益者に説明して理解をいただくよう進めていく。

令和5年12月定例会提出議案 21件

- 議案第60号 大衡村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
- 議案第61号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
- 議案第62号 議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正
- 議案第63号 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正
- 議案第64号 職員の給与に関する条例の一部改正
- 議案第65号 大衡村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 議案第66号 大衡村テレビ放送共同受信施設設置工事分担金徴収条例の一部改正
- 議案第67号 道路占用料条例等の一部改正
- 議案第68号 令和5年度大衡村一般会計予算の補正
- 議案第69号 令和5年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正
- 議案第70号 令和5年度大衡村下水道事業特別会計予算の補正
- 議案第71号 令和5年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正

- 議案第72号 令和5年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計予算の補正
- 議案第73号 令和5年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算の補正
- 議案第74号 令和5年度大衡村水道事業会計予算の補正
- (以下追加提出議案)
- 議案第75号 令和5年度大衡村一般会計予算の補正
- 議案第76号 令和5年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正
- 議案第77号 令和5年度大衡村下水道事業特別会計予算の補正
- 議案第78号 令和5年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正
- 議案第79号 令和5年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計予算の補正
- 議案第80号 令和5年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算の補正



ここから大衡村議会ホームページにアクセスできます。



◇採決状況◇

○賛成 ×反対 議長（高橋浩之）は採決に加わらない。

議案	山本 信悟	早坂 美華	鈴木 和信	小川 克也	佐野 英俊	赤間しづ江	文屋 裕男	細川 運一	遠藤 昌一	佐々木金彌	石川 敏	高橋 浩之	議決結果 (賛成:反対)
議案第60号～第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11:0)
議案第68号～第74号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11:0)
議案第75号～第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11:0)

一般 質問

6名の議員が村政を問う

質問者一覧表

鈴木 和信

- ・企業誘致に伴うインフラ整備はどう考えているのか

石川 敏

- ・令和6年度における新たな施策への取り組みは

佐野 英俊

- ・過去に質問した事項の動向について
- ・小中学生教育の現状について

小川 克也

- ・高校生の通学補助を

赤間 しづ江

- ・地域環境を守るごみ対策は
- ・利用しやすい産後ケア事業に

細川 運一

- ・デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進について
- ・これからの子育て支援のありかたについて

議会を 傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

次の定例会は

3月5日(火)

からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局

☎345-6030

✉gikai@village.ohira.miyagi.jp

企業誘致に伴うインフラ整備を

後手にならないよう全力で支援する



鈴木 和信 議員

経済効果

問 村としてどのような経済効果を期待しているか。

村長 村税収入や交流人口の増加が見込まれ、多方面における地域経済の活性化に期待する。

従業員の居住等確保

問 具体的な従業員の住居・社宅の確保は。

村長 早急に企業側のニーズを把握したうえで、確保に努めたい。

地産地消への誘導

問 農産物の地産地消を誘致企業にも生かせないか。

村長 立地企業の社員食堂でも取り組んでいきたい要望があるので、積極的に進

めていきたい。

村民の雇用促進

問 大衡村民の雇用促進は。

村長 企業が求める人材を育成することが、雇用促進につながる鍵である。

プロジェクトチームの設置

問 県と同様に交通問題等のプロジェクトの設置は考えないのか。

村長 総合窓口として設置を検討する。



国道4号古館交差点の渋滞状況



半導体企業の立地場所

市街化調整区域

問 定住促進・人口増加を見据え、早急な市街化調整区域等の見直しは。

村長 村の方向性を明確にしながら、県の都市計画見直しで行う。

10年後の地域計画

問 村長としての、10年後の地域計画は。

村長 定住人口の受け皿、住環境の整備、商業・サービス業施設を検討する。



石川 敏 議員

新年度施策の取り組みは 生き生きと暮らせる村を目指して

子育て・教育

問 子育て支援や教育について新たに着手する施策はあるか。

村長 妊婦への支援券を拡充して、保育園の一時預かりにも利用できるようにしていく。

インフルエンザ予防接種助成は中学3年生だけが対象だったが、生後6か月から18歳まで対象年齢を拡大する。

農業振興

問 自然災害や農業収入減少補償として「農業収入保険制度」がある。

担い手農家や農業法人への支援策として、保険料の一部補助はできないか。

村長

県内でも補助している自治体はあるようだが、農家にとって効果のある支援策は何か、皆さんの意見要望も確認し考えていく。

移住・定住対策

問 本村の人口は毎年約100人減少している。

人口減少を抑える上でも、空き家対策や現在の住宅新築支援制度の対象年齢制限の見直しが必要ではないか。

村長

移住・定住の支援制度と空き家対策をセットでできるよう検討しており、来年度から実施していく。

予算確保策

問 新規に取り組む施策の必要な予算額と、その財源はどうか確保するのか。

村長

現在新年度予算の編成中であり、予算額はまだ確定していない。企業誘致を進め、自主財源の確保に努めていく。

村政運営課題

問 村政運営において色々な問題が発生しているが大衡村として取り組んでいかなければならない課題は何か。

村長

半導体メーカーの進出も決定し、本村も大きく変わってくる。まちづくり政策を進める庁内機構を再編成し、誰もが生き生きと暮らし、夢をかなえる大衡村を目指していきたい。



移住者増加につながる住宅施策に

過去に質問した事項の動向は

計画的に進められている



佐野 英俊 議員

県道の歩道整備

問 大森・駒場地区を通過する県道仙台三本木線の歩道整備は。

村長 測量設計が実施され、関係地権者への説明会を開催し、用地立合等着工に向けて計画的に進められている。

奥田西側の県道新設

問 奥田西側に計画の県道整備は。半導体工場の立地決定を機会に、思い切った計画を県に求めています。

村長 筆界未定箇所があり、用地買収が進んでいない。国道4号からの県道大衡駒場線の拡幅等と併せて事業推進を要望していく。

傷んだ道路の補修

問 善川遊水地工事で傷んだ道路の補修は。

村長 村道竹ノ内蒜袋線は、国が令和6年度内に補修する。

県道大衡駒場線の補修は県に引き続き要望していく。

河川の堆積土砂撤去

問 工業団地の防災調整池から流出した土砂の撤去は。

村長 継続事業として奥田川や荒屋敷川などの土砂撤去や支障木伐採が、計画的に進められている。

村誌編纂

問 令和11年度の村制施行140周年に発行するとして村誌編纂は、進んでいるのか。

村長 今年度内にコンサルティング業者を選定し、来年度から編纂委員会を組織し、本格的に進める。

小・中学生教育の現状は
確かな学力を身に付けさせる

全国学力テスト結果

問 宮城県は全国平均より低いが、大衡の子どもたちの結果をどう見ているか。

教育長 小・中学生とも全国平均より低く、確かな学力を付けさせることが重要な課題と認識している。

大衡塾

問 大衡塾夏期講習会の成果をどう評価しているか。

教育長 参加した小・中学生から「分かった、できた」を実感したとの声が多く、学習成果と捉えている。

タブレットの活用

問 タブレット活用授業の成果をどう評価しているか。

教育長 導入3年目で使用頻度や活用幅も高まり、学習の充実さを感じている。



土砂の撤去が進む奥田川（羽前場堰下流）



小川 克也 議員

高校生に通学補助を 高校入学時に祝金を支給したい

アンケート調査

問 公共交通に関するアンケート調査を実施している。自由記載欄に、高校生の通学補助要望が高いと感じるが、その要望件数は。

村長 全体で102件の要望があり、うち通学補助要望は55件である。

問 55件の通学補助要望の内容は。

村長 「高校生に定期券等の補助を・進路選択の幅を広げるため通学補助を・高校生のために万葉バス等の復活を・高校生もデマンド型交通を利用できるようにして欲しい」などである。

デマンド型交通

問 来年度の高校1年生からは、デマンド型交通が利用できなくなる予定であるが、万葉バスと駒場線が廃止になり通学に支障が出た生徒がいると思う。

引き続き高校生の利用については、試行運転で進めていくべきではないか。

村長 高校生の利用率や運用状況を精査しながら考えていきたい。

通学支援制度

問 アンケート調査結果で、「高校生に定期券等の補助を」との声がある。通学支援制度を創設する考えはないか。

村長 自転車通学の生徒もいることから公平性を保つため、通学費以外の支援策を考えている。

高校入学時に祝金3万円を支給する制度を創設したい。

問 祝金を支給しても高校生の通学問題は解決されない。また通学補助要望が出たのでは。

村長 今後も検討を重ねていく必要があると認識している。祝金を支給する形で理解していただきたい。



高校生にスクールバス定期代の補助を



赤間 しづ江 議員

地域を守るごみ対策は

あらゆる手立てを講じ強化する

ごみ排出量の推移

問 生活ごみの排出量の推移と今後の見込みは。

村長 令和2年度1335tをピークに減少傾向であるが、住民1人1日当たりの排出量は令和4年度637gと過去最大となり、年々増加している。

分別の徹底

問 集積所のごみ散乱をなくすため、住民もごみ出しの基本的ルールを守り、分別をさらに徹底することが必要ではないか。

村長 役場駐車場に、古紙回収倉庫を設置したことで資源ごみの割合が増え、分別の意識向上が図られている。

処理施設の見学

問 収集されたごみの処理状況を実際に見る村民を対象とした環境管理センター見学会を実施しては。

村長 平成30年に更新されたごみ処理過程を見る事によって、意識向上が図られる。施設見学を今後実施していきたい。

ポイ捨てごみ対策

問 散乱ごみは景観を損ねるだけでなく、自治体のイメージ悪化にもなる。ボランティアの活動に頼ることなく、散乱ごみの収集をすべきではないか。

村長 環境美化促進条例が制定されているので、立看板、監視カメラの設置、不法投棄パトロールなどあらゆる手立てを講じて、さらに強化していく。

利用しやすい産後ケア事業を委託先を増やし対応する



ペットボトル選別は手作業で(黒川地域環境管理センター)

問

令和4年4月から始められた産後ケア事業利用状況は。出産直後の母子の状況を考慮すれば、身近なところで母体を休める支援が望ましいのではないか。

問

助産師等専門職員を配置し、子育て経験者等サポート体制を整え独自の取り組みを考えては。

村長

国のガイドラインでは、助産師を中心とした専門的ケアを行なう事となっているが有資格者確保が難しい状況である。

村長

現在までの利用者は、デイサービス4名である。委託しているのは近隣市町の産科病院3院となっている。

村としては、産後ケアの利用出来る施設を増やして対応していきたい。



細川 運一 議員

自治体のデジタル化への対応は 令和7年度末までに標準システムへ移行

情報システム

問 住民に対する行政サービスの利便性の向上や業務の効率化を図るために、政府などが運営するオンラインサービスを利用して子育てや介護などの申請をできるようにしたり、自治体の情報システムを全国統一的なシステムにしていかなければならないが、どのように進めていくのか。

村長 現在使用しているシステムと国が示した標準仕様書を比較して差異分析をしている。

今年度は新たに整えられた文字体系への同定作業を行う。6年度には戸籍システムの同作業を行い、7年度末までに標準システムへ移行していきたい。



役場職員が磐梯町のデジタル化の取り組みを視察

第2子以降の保育料を無償に 慎重な対応が必要

多子世帯保育料

問 少子化の中で、多子世帯の経済的負担の軽減とこれからの子育て環境の基盤を確かなものにするために、第2子以降の0〜2歳児の保育料を段階的にも無償化するべきではないか。

村長 すべての18歳以下の子供たちが対象となる支援策を優先的に行ないたいと考えている。

保育料は、所得に応じた料金になっているので無償化した場合、所得の高い世帯ほど、その効果が大きく、非課税世帯やひとり親世帯などには効果がないので慎重な対応が必要である。

問 3〜5歳児は無償であり、保育所などに2人以上同時に入所した場合には、第2子は半額になり第3子以降は無償になる。第2子は無償にするには、いくら必要なのか。

村長 仮に、保育所などに在籍している第2子は無償にするには334万円必要となる。第1子を18歳未満までとすると916万円になる。

国も無償化を考えていると思うが、状況により村としても考えていきたい。

全員協議会

調査年月日：令和5年11月17日



役場1階フロア

行政組織機構再編成

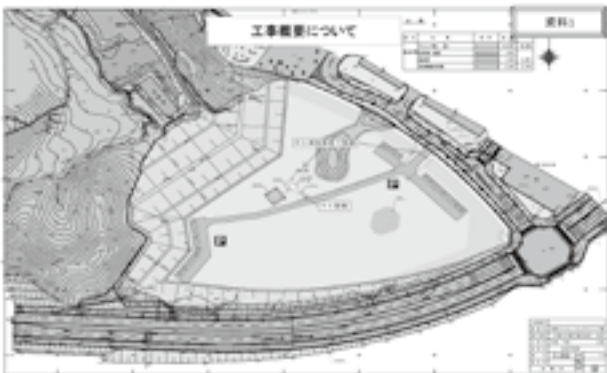
9課1局6室⇒12課1局5室へ
再編予定課の業務内容や人員配置が不確定
→時期尚早と思われる

生活ごみ収集業務委託

令和6年度～10年度の5か年 2億3,000万円
・人件費上昇
・燃料費アップ
・洗浄機更新
→800万円程債務負担行為の限度額アップ見込む



ごみ収集作業



キャンプ場計画図

万葉クリエートパーク キャンプ場整備

タカカツグループと協定を締結

工 期：令和5年10月11日～令和6年3月22日
請 負 者：宮環建設株
請負金額：3,564万円

学校給食センター整備 設計業者に費用請求

設計ミス・工期の遅れ・村の被害額請求149万円
村として6か月間入札指名停止
相手方：(株)久慈設計仙台支社

職員の懲戒処分

産業振興課職員を11月10日付けで懲戒免職処分
村長・副村長 3か月20%給料減額条例提出
→綱紀粛正と信頼回復に努める



2学期から稼働した新給食センター

万葉こども園と教育委員との懇談会を開催しました。日頃感じていること、意見、要望など、貴重なお話をいただきましたので、課題の解決に向けて議会としても取組んでまいります。

おおひら万葉こども園（令和5年12月11日）

●幼保小の連携

- ・小学校との連絡会議は就学に向け行なっている。
- ・こども園が小学校の授業参観に出席している。

●こども園運営方針

- ・小学校入学に備えて児童用机を配置し、スムーズに移行できるように保育している。
- ・子どもの得意分野を褒めて伸ばす。
- ・行事を通して友達大切さを学んでもらう。



こども園との懇談会

教育委員（令和5年12月25日）



教育委員との懇談会

●教育委員として感じていること

- ・幼児期に遊びを通して身につける体験不足の影響はないか心配される。
- ・先生の負担を軽減するため、支援員の配置など、働きやすい環境づくりに努めて欲しい。
- ・委員会会議資料のペーパーレス化を図って欲しい。
- ・学校からの情報が少ない。
- ・子どもたちが楽しく過ごせる環境づくりを委員として考えたい。

●幼保小の連携

- ・企業進出に伴い、周辺環境の変化に応じた教育を望む。

●教員の働き方改革

- ・タブレット操作、部活動、保護者への対応など負担を軽減し、子どもたちとの信頼関係を築ける時間の確保が課題である。

子ども・子育て

- ◎おひさまくらぶ（おおひら万葉こども園）
乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについて相談・情報提供など援助を行い健やかな育ちを支援するもの。
- 活動状況

日付	体験活動		参加者数
	活動		
8月	2日	夏祭り	10組
	30日	ポリバルーン	6組
9月	6日	さかな釣り	8組
	13日	ヨガ教室	5組
	20日	手遊び・歌遊び	7組
	27日	消しゴムハンコでポーチ作り	10組



クリスマス遊び体験

◆調査結果意見
参加者が多く次年度以降も継続で進めていく考えであったが、支援事業の在り方を今後検討されたい。

移住・定住促進

- ◎空き家のアンケート調査
- 調査結果（送付数：60件 回答数：30件）

主な調査項目	一番目に多い内容
空き家となった理由	住んでいた人が不在
空き家の状況	多少の修繕が必要
今後の利活用について	売りたい・貸したい
困っていること	荷物の処分

◆調査結果意見
調査結果をもとに、空き家の利活用に向けてどのような支援制度が必要か検討し、空き家対策を進められたい。今後も調査を継続していく。

災害対策

- ◎災害備蓄倉庫（主なもの）
- ・缶入りパン・紙おむつ・保存水・マスク
- ・災害備蓄マット・毛布・土のう袋など

◆調査結果意見
備蓄倉庫には災害用資機材等が豊富に保管されているが、生理用品が少ないので保有されたい。備蓄品の保管場所の表示が必要である。



豊富に保管されている備蓄品

議会だより198号の訂正

議会だより198号での委員会レポートに誤りがありました。

- ◎敬老会
- 訂正前** 令和6年度から敬老会は実施しない。敬老祝い品も今年度で終了。
- 訂正後** 敬老会及び敬老事業について、庁内で方向性を検討中。

産業教育

調査年月日：令和5年11月6日・15日

学力向上(大衡小学校授業参観)

- 3年生はりんご農家の見学に向けて、タブレットでりんごに関する情報を収集した。
- 5年生は、トヨタ自動車ハンドボール部が来校し、交流を深めコミュニケーションを高めた。

◆調査結果意見

体験学習は児童にとって身につくことが多く、今後も授業の一つに取り組んで児童の能力を高め、また、情報システムのタブレット利用指導の充実に努められたい。



タブレット活用の3年生

上北沢排水処理施設

- 福岡県川崎町正栄炭鉱では、源流・曝気槽を經由し上流から下流へ自然放流するシステムで処理している。
- 秋田県小坂町相内鉱山は、正栄炭鉱と同様であるが、自然落下で曝気を行い上澄み水を放流するシステムで処理している。

◆調査結果意見

上北沢排水処理施設の更新には今後の施設に合った実証実験を踏まえ、より良い処理方式を検討されたい。



CKD(株)

立地企業訪問(CKD株式会社)

- 会社概要
産業用機械を開発製造しているものづくりメーカー。自動車・家電・スマートフォンなど、あらゆる産業ラインに技術が使われている。

村道尾西2号線現地調査

工期：令和5年8月16日～令和6年3月22日

1工区：L=203.2m

請負額：3,564万円 請負者：宮環建設(株)

2工区：L=200m

請負額：3,674万円 請負者：(株)松川土木



尾西2号線改良工事状況



大衡小学校 6年
わたなべ
渡邊あかりさん

将来の夢に向かって

私の将来の夢は、イラストレーターになることです。理由は、絵を描くことが好きだからです。もともとは違う夢でしたが、イラストレー

ターの仕事を知り、とても楽しそうだと感じました。ですが、私は何も見ないで絵を描くということが苦手です。だから、これからもたくさん絵を描いたり、ほかの人の絵も見たりして勉強したいです。そして、多くの人に喜んでもらえるような絵を描けるイラストレーターになれるように頑張りたいです。



大衡中学校 2年
あいざわ ほまれ
相澤穂希さん

経験から 誰かのために

私の夢は歯科衛生士です。私が歯科衛生士を目指すきっかけとなった出来事は、小学6年生から始めた歯列矯正で

す。歯医者に通っていくうちに衛生士さんの会話も増え、初めは緊張していましたが、自然と緊張が減っているように感じました。いつも明るい衛生士さんを見て、この職業に興味を持ちはじめました。衛生士になるために、普段の授業から真剣に取り組み、夢に一步ずつ近づけるように頑張っていきたいです。

わたしの夢

大衡の輝く未来のために

松原

あべ

幸弘さん

今から10年後・20年後社会はどのように変化しているのでしょうか。今の社会生活でITが多く用いられています。これからもITの技術はさらに進化をして私たちの生活や仕事により必要になってくると思います。

技術革新が行われることは素晴らしいことです。それと合わせて、活用する

私たちが、忘れてはならないのが、人と人の結びつきでは

ないでしょうか。人は互いに支え合ってこそ生きていくことができます。そのためにもお互いに「思いやりの心」や「協力する心」をより大切にしていかなければなりません。大衡が20年後も「結いの心」を持った村であることを願います。いつの時代も「子宝」であり、その子供たちを村民みんなで育てていかなければなりません。大衡の未来を輝かせるために。

みんなの声



これからも「結」を大切に

あとがき

新しい年の始まりです。大衡村は企業立地で大きく変わろうとしています。

議会だよりは村民と議会をつなぐ情報誌です。今年辰年。「運氣の上昇・景気が上向く」という言い伝えがあります。これからもご支援をお願いいたします。

鈴木 和信

編集広報聴常任委員会
広報分科会

会長 石川 敏
副会長 小川 克也
委員 赤間しづ江
鈴木 和信
早坂 美華
山本 信悟

発行責任者 議長 高橋 浩之

表紙写真

村新年会が4年ぶりに開催され、ききょう保育園児による元気なよさこい踊りがアトラクションで披露されました。

